

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

神奈川県推薦

# 座間キャラバン隊

(神奈川県座間市)

## 【概要】

- ダウン症の妹を持つ小学校6年生の男児が、自閉症の児童の不思議な行動を馬鹿にする同級生に対して、自閉症についてどう説明したら良いのかと母親に問いかけてきたことを受け、その母親が学校の先生に相談し、障害のある児童について説明する時間を持つこととなった。その際、仲間たちへ持ち掛け、アイデアを出し合い、台本、カード、グッズ等を作り、地域の小学校で障害のある児童を理解するための公演をしたことがきっかけとなり、平成13年に「座間市手をつなぐ育成会地域啓発キャラバン隊」を結成した。
- 平成14年に公演活動が全国的に知れ渡り、冊子・ビデオの作成、ビデオレンタル等で活動内容を広範囲に広め、平成20年には、座間市手をつなぐ育成会から独立した。平成15年以降、現在まで300回近い公演を行い2万人以上が公演活動を観賞しているほか、雑誌、テレビ、ラジオにも多数取り上げられ、自閉症支援実践賞「いとしご賞」等の賞を受賞するなどにより、類似の活動の全国へ広がり、障害児童への理解促進において多大な功績がある。



本とDVD

## 【特に顕著な功績・功労】

- 公演を観賞した児童等に、
  - 障害児童の困り感に気付く。
  - 障害児童の気持ちを理解し、想像して、されたら嫌な行動を考えるようになる。
  - 障害児童と接したいという気持ちを持つようになる。
  - 障害児童の頑張りにも気付くようになる。

- 障害児に限らず、支援を必要とする子との距離感が縮まる。
- 支援学級へ遊びに行く児童が増え、偏見について考えるようになる。
- お互いの子供の障害への理解が深まった。
- 様々な障害のある人に対する心の目が変わった。
- 障害者へどう対応すればいいかということに興味を持つようになった。
- 相互理解の必要性を感じるようになった。

などの変化が芽生え、障害児への理解の輪が広がった。

### 公演風景

